

県西教育事務所だより

未来に向かって 高い志を持ち たくましく生きぬく 人づくり

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 平成30年7月5日発行（第4号）

移行期間中における外国語教育について

～外国語教育に係る研修の充実と小中連携～

新学習指導要領の完全実施に向けた「移行期間」がスタートし、3か月が経過しました。特に小学校の外国語教育では新教材が配付され、その活用や授業づくり等の様々な研修を通して、完全実施に向けた準備を進めているところです。来年度からは「先行実施」も決まっており、さらなる小学校外国語教育の充実を目指していきます。中学校では、平成31年度から第3学年で全国学力・学習状況調査における「4技能調査」が実施されます。「話すこと」の調査項目が入ることで、日々の授業改善が必要になってきます。現在実施されている県の事業や研修会、指導のポイントについて再確認し、**小中連携の視点**を大切にしながら外国語教育の充実を目指していきましょう。



小学校

【国・県の事業、研修会】

- 小学校教員の外国語教育指導力向上研修 [国の事業]
- 小学校外国語活動推進事業 [県の事業]
 - ・英語力等向上研修
 - ・外国語教育推進校における公開授業
大形小学校、水海道小学校、逆井山小学校
 - ・実践マネジメント校における公開授業
城南小学校、結城西小学校、谷貝小学校
神大実小学校、猿島小学校



【指導のポイント】 5, 6年生

- Hi, friends! と新教材を活用した担任主導の授業
 - 文字指導について
 - ・アルファベット 読んで、書ける指導
 - ・単語や文 読むこと…認識 書くこと…書き写す
- ※単語や文の音読テストや書き取りテストは行わないようにする。

中学校

【国・県の事業、研修会】

- 中学校教員の外国語教育指導力向上研修 [国の事業]
- 英語教員リーダー育成事業 [県の事業]
 - ・中学校英語教育推進校における指導法研修
八千代第一中学校（推進校）
- 中学校英語力向上研修 [県の事業]
 - ・英語力アップサポート(生徒のSpeaking Check)
 - ・英語力アップチャレンジ(英語教員の英語力向上)

【指導のポイント】

- 小学校の学びをつなぐ指導
- 4技能を総合的に育成する授業展開
「話すこと（やりとり・発表）」の育成
- 自分の気持ちや考えを話したり書いたりする力の育成
- 即興的に伝え合う場面の位置付け



【生徒指導班より】

～充実した夏休みにしていくために～

子どもたちにとって、安全で楽しく充実した夏休みになるよう、夏休みの過ごし方について以下の点をご確認ください。特に家庭との関わりを大切にした指導を重ねてお願いします。

- 1 交通事故の未然防止
 - 交差点や道路横断時、踏切での一時停止と安全確認
- 2 水難事故の未然防止
 - 子供たちだけで海、河川等には行かないよう指導
 - 保護者へ注意喚起
- 3 SNSの不適切な使用を起因とする事件・事故の未然防止
 - SNSで知り合った相手に会いに行かない、画像を送らない
- 4 問題行動等の防止と配慮を要する児童生徒への対応
 - 夜間外出、外泊等の危険性について指導、不登校傾向の幼児児童生徒への支援
- 5 部活動の指導
 - 適切な休養日の設定と熱中症の予防



【人事課より】

【第1回管理職研修会から】

6月19日（火）に、県西生涯学習センターにおいて、県西管内管理職研修会を開催しました。今回は、「いじめ問題に組織的に取り組むために」と「働き方改革の推進」の2つのテーマについてグループに分かれての協議等を行いました。「働き方改革」についての協議内容をいくつか紹介します。各学校で更に校務改善を週り、働き方改革を推進していきましょう。

- ・学年だよりと週りの予定との統合
- ・留守番電話の導入
- ・学校評価をマークシートやスマホで実施
- ・終了時刻を決めてから会議を実施 等

【教員免許更新の確認】

- 平成30年度の教員免許更新講習受講対象者 平成30年6月8日現在
- ・第9グループ（40人中11人申請済み）残り29人！
※各学校で必ず免許状や修了確認証明書等の原本で確認するようお願いします。



【児童生徒の安全確保】

- 通学路の安全点検の徹底（地震発生時の危機管理マニュアルの再確認等）
 - ・児童生徒の安全確保について（通知） 平成30年6月18日付け 保体第577号
 - ・学校におけるブロック塀等の安全点検等について（通知） 平成30年6月20日付け 保体第592号
 - ・地震等が発生した場合には、「落ちてこない・倒れてこない・移動してこない」安全な場所に避難
- ※市町教育委員会や地域、PTA等との密な連携を！

坂東市立岩井第一小学校では、教育目標を「豊かな心で 力いっぱい やりぬく子」とし、日々の教育活動に取り組んでいます。鈴木 和幸教諭は、高学年の理科の授業を中心に、自ら課題を見つけることで条件を整えて計画を立て、結果に対する見通しをもって観察・実験に臨むことのできる児童の育成を目指し指導にあたっています。

【実践例】 第6学年 「電気の性質とその利用」

目標 手回し発電機、コンデンサー、発光ダイオード、豆電球などを使い、自分で電気をつくったり、蓄えたり、変換したりできることに興味・関心を持ち、本単元で学習する内容の見通し(学習課題)を立てることができる。

👉 一手間一工夫のポイント 👈

～探究する喜びを実感できる授業とするためのポイント～

目的意識をもち続けながら、課題解決学習に取り組ませる授業の流れ

☆単元を貫く発展的な課題に挑戦

確かめたいこと 疑問に思ったこと

↓ 疑問点を明確にする。

問題作りへ

↓ 各児童の問題を類別する。

☆学習課題へ

↓ 児童とともに課題を作る。

↓ 観察・実験の目的や順序を明確にする。

※枠内が実践事例

☆予想と仮説(実験プラン)

↓ 検証計画を立案する。

↓ 生活体験や既習事項と関連付ける。

☆観察・実験

↓ 身近なものを教材化して利用する。

↓ 一人一実験を目指す。

☆観察実験の記録(付箋紙の利用)

↓ 実験空間を確保する。

↓ 互いの結果の確認や 類別をやすくする。

☆考察・まとめ

課題や仮説の言葉を利用して、考察する。

定型文を利用してまとめる。



発展的な課題に取り組みながら、疑問に思ったことや確かめたいことを見つける。

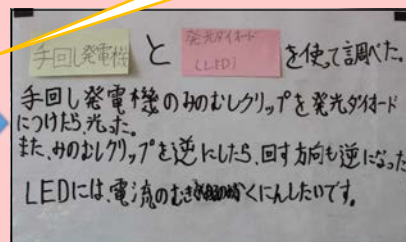


グループで話し合い、解決したい問題を作る。

定型文を示して、誰もが書けるように支援する。

<定型文>

～が分かりません。ふしぎに思いました。～と調べたいです。



最初に発表する児童の意見をよく聞き、「同じ意見」「違う意見」「付け加える意見」「疑問点」などを自由に話し合い、「自分で考えた問題」を作り上げていく。

児童が作った問題をもとに、教師と一緒に課題を作り上げる。できた課題をどの順序で解決していくかについても決める。



【鈴木教諭から】

単元の最初に、身の回りの問題を考えたり、発展的な実験を体験したりすることで、児童自身がもった疑問をもとにして課題を作り、一つ一つに仮説を立て検証していくという授業展開です。課題を作る段階、仮説を立てる段階、結果から考察する段階のそれぞれでは児童同士の十分な話し合いの時間を確保します。一人の「分からない」を対話を通して全体で解決しながら進めていく、言語活動を重視した体験的な課題解決学習は、「ただ楽しい実験」から「探究する喜びを実感できる観察、実験」になると考え取り組んでいます。また、言語活動の充実のためには、理科の授業だけでなく他の教科と連携を計画的に進めていく必要があると考え、今後も担任とチーム・ティーチングできめ細かな情報交換や情報共有をして授業を展開していきたいと考えています。

【総務課より】 博物館紹介①(理科編) ～夏休みは自然博物館に行こう!!～

ミュージアムパーク茨城県自然博物館では、平成30年7月7日から9月17日まで、企画展「火山列島日本」が開催されます。火山と言えば、噴火による災害等がイメージされがちですが、私たちは、日々の暮らしの中でその恩恵も受けています。茨城県に火山はありませんが、メロンに代表される豊富な農作物が収穫できるのは、茨城県の多くが火山灰が降り積もってできた関東平野であるからです。今回の企画展では、火山の恐ろしさだけでなく、その恩恵についても知ることができます。

○料金(企画展期間中) 一般:740円, 70歳以上:370円, 高校・大学生:450円, 小・中学生:140円

